



食農共育セミナー 子どもに・ 未来に・安全な食を

自然災害、政情不安など、輸出国の様々なリスクを考えると、いつでも食料を輸入できるとは限りません。また、オーガニックや国産食品は、ゆとりがある人だけのものでしょうか？
持続可能な食・農について、鈴木宣弘先生の講演から深掘りしてみましょう。

日本の食料自給率って本当は、何%？



世界で最初に飢えるのは日本…ってホント？

お申し込みは

10.14 土 14:30 ~ 16:30

定員 **100**人

①お電話でのお申し込み
TEL:077-527-8661
(大津市市民活動センター)

会場 **スカイプラザ浜大津7階 スタジオ1**
(京阪「びわ湖浜大津駅」徒歩1分)

参加費 **1,000**円

②右のQRコードにアクセスしてwebからのお申し込み



14:30 ~ 基調講演「持続可能で三方よしの農業のわけ～日本の食料自給率と世界情勢～」(60分)

鈴木 宣弘 さん 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

1958年三重県生まれ。1982年東京大学農学部卒業。農林水産省、九州大学教授を経て、2006年より東京大学教授。98～2010年(夏季)コーネル大学客員教授。2006～2014年 学術会議連携会員。専門は農業経済学、国際貿易論。日韓、日チリ、日モンゴル、日中韓、日コロンビアFTA産官学共同研究会委員、食料・農業・農村政策審議会委員(会長代理、企画部会長、畜産部会長、農業共済部会長)、財務省関税・外国為替等審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員、JC総研所長、国際学会誌Agribusiness編集委員長を歴任。一般財団法人「食料安全保障推進財団」理事長。

『食の戦争』(文藝春秋、2013年)、『悪夢の食卓』(角川書店、2016年)、『だれもが豊かに暮らせる社会を編み直す:「鍵」は無理しない農業にある』(共著、筑波書房、2020年)、『農業消滅～農政の失敗がまねく国家存亡の危機』(平凡社新書、2021年)、『協同組合と農業経済～共生システムの経済理論』(東京大学出版会、2022年、食農資源経済学会賞受賞)、『世界で最初に飢えるのは日本～食の安全保障をどう守るか』(講談社、2022年)他、著書多数。



15:30 ~ フロアトーク (50分)

コーディネーター **浅野 智子**
(特定非営利活動法人HCCグループ 理事長)

事例紹介 **・株式会社よつ葉ホームデリバリー京滋より
・生活協同組合コープ自然派京都より**

主催 特定非営利活動法人HCCグループ / 生活協同組合コープ自然派京都
株式会社よつ葉ホームデリバリー京滋
一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク・食のグリーン購入研究会

協力 大津市市民活動センター 後援 滋賀県

【連絡先】特定非営利活動法人HCCグループ

〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津1階
TEL:077-527-8661 FAX:077-527-8662
mail : moveotsu@gmail.com Web : http://www.npo-hcc.org/